

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・3・5・8組：藤原）（2・4・6・7組：上村）

使用教科書：（143 筑摩 論国710）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】読み書きで論理的に考える力を伸ばし、創造的に考える力、伝え合う力を身につけ、自分の思いや考えを

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の文化の担い手としての自覚を深

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	読み書き領域で、論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力や他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、考え方を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 「貨幣共同体」 資本主義と貨幣という評論頻出 テーマについて理解する。 読み書き領域で、論理的、批判的 に考える力を伸ばし、創造的に考 える力や他者と伝え合う力を高める。	・指導事項 ①本文を通して、タイトル、具体 例や引用の使い方などの表現技 法、効果的な主張の仕方について 考える。 ②意見を集め、何かを決めていく ときに、どのような手順で話し合 いを進めていくかを考える。 ③個人が社会に対して自分の意見 を訴える際にはどのようなことに 気をつけなければならないかを考 える。 ・教材 ・一人1台端末の活用 「議会占 拠 二十四日間の記録」視聴 等	【知識・技能】 文中に含まれた語句を通して、論証したり 学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句 の量を増し、語彙を豊かにすることができ ている。 【思考・判断・表現】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自 分の立場や論点を明確にして、主張を支える 適切な根拠をそろえることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表の態度は積極的で、ニュースで見聞き したことや他の人の発表も注意深く聞き、も のの見方、感じ方、考え方を深めようとして いる。	○	○	○	6
	補助教材 定番小説 単元「舞姫」 （前半） ・文語文体の小説に慣れ親しみ、そ の文体や表現の特色を理解する。 （知識及び技能） ・登場人物の性格や心理、感情の動 きなどを正確に把握し、人間への理 解を深める。（思考力、判断力、表 現力等） ・作中の時代背景を確認し、そこに 描き出された時代や社会へ関心を深 める。（学びに向かう力、人間性 等）	・指導事項 ①語り手「余」の存在とその置か れている状況を把握させる。 ②主人公がこの手記を綴ろうとす る動機をまとめさせる。 ③豊太郎の生い立ちと家庭環境、 ベルリンでの体験の意味、自分の 本性を捉えるまでの過程を整理さ せる。 ④舞台であるベルリンの状況、エ リスがどのような少女として描か れているかを把握させる。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 文語文体を認識し、状況や感情の説明を可 能にする働きがあることを理解して、時代背 景や社会的状況を知る。 【思考・判断・表現】 読解を通して、登場人物の性格や心情、感 情の動きなどを正確に把握し、小説の主題を 深く探り、それが自己の問題とどのように関 わるかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 作中の時代背景を確認し、そこに描き出さ れた時代や社会へ関心を深めて、その時代に 生きていた人々への理解を深める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	補助教材 定番小説 単元「舞姫」 （後半） ・小説がどのように組み立てられて いるか、その構成や語り手の課題を 考察する。（知識及び技能） ・小説の主題を深く探り、それが自 己の問題とどのように関わるかを考 える。（思考力、判断力、表現力 等） ・近代文学の流れを把握し、この作 品の文学史的意義を明らかにする （学びに向かう力、人間性等）	・指導事項 ①免官と母の死が主人公にもたら した意味を考えさせる。 ②主人公とエリスとの関係の変化 を把握し、まとめさせる。 ③豊太郎と天方伯、相沢、エリス との関係を整理し、主人公への影 響を確認し、どのような意味を持 つかを指摘させる。 ④豊太郎にはなぜ相沢を憎む心が 残っているのかを考えさせる。 ・教材「舞姫」井上靖訳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 読解を通して、文章の種類を踏まえて、要 旨を把握できる。 作者についての文学史上の意味を学ぶ。 【思考・判断・表現】 小説がどのように組み立てられているか、 その構成や語り手の課題を考察する。 小説の組み立てについて、物語の構成を把 握し、語り手の問題意識を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わ り、ものの見方、考え方を深め、自らの学習 を調整しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元「ものごと」 抽象的な言葉で表現されている哲 学的な内容を理解する力をつける。	①本文の「主体」ということばに 注意しながら筆者の論旨を把握さ せる。 ②「行動する主体」としての自分 自身のふるまいについて、考えさ せる。 ③「この地球社会に山積した問 題」に向き合おうとすると、ど のようなことが必要か、本文の主 旨を踏まえて話し合う。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 文中に含まれた語句を通し、文章の中で使 うことを意識し、語感を磨き語彙を豊かにす ることができる。 【思考・判断・表現】 読解を通して、評論文という文章の種類を 踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的 確に捉え、論点を明確にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して他者や社会に関わり、ものの 見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を 調整しようとしている。	○	○	○	7
	「共通テスト対策 現代文完答 2 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を 踏まえ共通テストの解法を学ばせ る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲 的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	「共通テスト対策 現代文完答 2 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を 踏まえ共通テストの解法を学ばせ る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲 的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	「共通テスト対策 現代文完答 2 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を 踏まえ共通テストの解法を学ばせ る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲 的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査	。		○	○		1
3 学 期	「共通テスト対策 現代文完答 2 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説を 踏まえ共通テストの解法を学ばせ る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲 的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	「共通テスト対策 現代文完答 2 2」他	・指導事項 演習問題に取り組み、解説解 説を含む共通テスト対策を実施す る。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基 本を理解している。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細 部の正誤の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問に意欲 的に取り組んでいる。	○	○	○	10 合計 78

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科： 地理歴史 科目： 地理探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組 （必修選択科目）

教科担当者： 今垣

使用教科書：（ 地理探究（二宮書店） ）

教科 地理科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。□	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。□

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	農業【知識・技能】 農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて地図や統計などを用いて理解することができる。 【思考・判断・表現】 農林水産業の条件や変化などに注目して、「食料問題」などの主題を基に、「世界の栄養不足人口の分布に地域的な偏りがあるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体】 農林水産業の変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	1 農業の諸条件 2 社会の発展と農業の変化 新しい視点 都市とその周辺で営まれる農業 3 グローバル化・技術革新と農業 4 食料問題 日本を知る 日本の農林水産業とその課題	【知識・技能】 農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 地図や統計などを用いて、農林水産業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができたか。 【思考・判断・表現】 農林水産業の条件や変化などに注目して、「食料問題」などの主題を基に、「世界の栄養不足人口の分布に地域的な偏りがあるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 【主体】 農林水産業の変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしているか。	○	○	○	7
	中間考査			○	○	○	1
	エネルギー・鉱工業 【知識・技能】資源・エネルギー、工業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて地図や統計などを用いて理解することができる。 【思考・判断・表現】資源産地の分布や消費地との結びつき、工業立地や変化などに注目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体】資源・エネルギーの生産と消費、工業の発展について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	1 社会の発展と資源の利用 2 世界の鉱産資源 3 世界のエネルギー資源とその課題 4 電力の利用と変化 日本を知る 日本の資源・エネルギー問題 1 社会の発展と世界の工業化 2 工業の立地 3 工業地域の形成と変化 4 自動車工業の特徴と日本の海外生産 5 国際分業の進展と多国籍企業 6 工業生産のグローバル化に伴う諸課題 新しい視点 知識集約型産業の発展 日本を知る 日本の工業 変化と課題	【知識・技能】資源・エネルギー、工業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて地図や統計などを用いて理解することができる。 【思考・判断・表現】資源産地の分布や消費地との結びつき、工業立地や変化などに注目して、多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 【主体】資源・エネルギーの生産と消費、工業の発展について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしたか。	○	○	○	7
	第3次産業・交通通信 【知識・技能】第3次産業・交通・通信に関わる諸事象の規則性、傾向性などについて地図や統計などを用いて理解することができる。 【思考・判断・表現】産業構造の変化、交通・通信手段の発達や利用に関わる課題に注目して多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体】産業構造の変化、交通通信の発達について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	1 サービス経済化と社会の変化 2 世界を結ぶ交通 3 世界を結ぶ通信 新しい視点 交通・通信の発達と買い物行動の変化 日本を知る 日本の暮らしを支える交通とその課題	【知識・技能】第3次産業・交通・通信に関わる諸事象の規則性、傾向性などについて地図や統計などを用いて理解することができたか。 【思考・判断・表現】産業構造の変化、交通・通信手段の発達や利用に関わる課題に注目して多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 【主体】産業構造の変化、交通通信の発達について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしているか。	○	○	○	4
	期末考査			○	○	○	1

2 学 期	アジア・EU・ロシア 【知識・技能】アジア、EU、ロシアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、多彩な文化と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 【思考・判断・表現】アジア・EU・ロシアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、ち図、統計を活用し、多彩な文化と関連づけながら多面的・多角的に考察することができる。 【主体】アジア、EU、ロシアの自然、資源、産業について、日本との関係を踏まえつつ関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	1 ASEAN各国 2 南アジア 3 西アジアと中央アジア	【知識・技能】アジア、EU、ロシアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、多彩な文化と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができたか。 【思考・判断・表現】アジア・EU・ロシアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、ち図、統計を活用し、多彩な文化と関連づけながら多面的・多角的に考察することができたか。 【主体】アジア、EU、ロシアの自然、資源、産業について、日本との関係を踏まえつつ関心を高め、意欲的に追究しようとしたか。	○	○	○	10
	中間考査			○	○	○	1
	北米・南米・オセアニア地域 【知識・技能】北米・南米・オセアニアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、多彩な文化と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 【思考・判断・表現】北米・南米・オセアニアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、ち図、統計を活用し、多彩な文化と関連づけながら多面的・多角的に考察することができる。 【主体】北米・南米・オセアニアの自然、資源、産業について、日本との関係を踏まえつつ関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	1 アングロアメリカ 2 ラテンアメリカ 3 オセアニア	【知識・技能】北米・南米・オセアニアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、多彩な文化と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができたか。 【思考・判断・表現】北米・南米・オセアニアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、ち図、統計を活用し、多彩な文化と関連づけながら多面的・多角的に考察することができたか。 【主体】北米・南米・オセアニアの自然、資源、産業について、日本との関係を踏まえつつ関心を高め、意欲的に追究しようとしたか。	○	○	○	10
	期末考査			○	○	○	1
	共通テスト演習問題	内容の復習と演習	【知識・技能】多様な資料を的確に読み取り、社会的な事象に対する背景、課題について理解したことを確認することができたか。 【思考・判断・表現】多様な資料から多面的、多角的に考察し、判断する能力を備えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。				20
3 学 期							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科

教 科： 公民 科 目： 倫理

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担（ 1～8 組：小川 ）

使用教科書：（ 東京書籍「倫理」（倫理701）

教科 公民

の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 概念や理論などを理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会課題を把握し説明するとともに、解決方法について構想、議論し社会参画に向かう力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、積極的な役割を果たす自覚などを深める。

科目 倫理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	必要な判断の基準となる理論などを活用して、社会課題を把握し説明するとともに、解決方法について構想する力や、議論し公正に判断して社会参画に向かう力を養う。	現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、主権者として、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1) 人間としての在り方生き方の自覚・個性、感情、認知、発達などに着目し、豊かな自己形成に向けた、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解する。 ・ 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	1. 人間の心の在り方 ○ 青年期の課題と人格・感情・認知・発達についての心理学に着目して、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解する。 ○ 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ○ 青年期の課題や、人格・感情・認知・発達についての心理学に着目して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	【知識・技能】 青年期の課題と人格・感情・認知・発達についての心理学に着目して、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の課題や、人格・感情・認知・発達についての心理学に着目し、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	7
	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1) 人間としての在り方生き方の自覚・幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解する。 ・ 幸福、愛、徳などに着目して、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解する。 ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	2. 様々な人生観・倫理観・世界観Ⅰ ○ 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の思想と芸術家およびその作品に着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解する。 ○ 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の考え方や芸術家およびその作品を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ○ 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の考え方や芸術家およびその作品に着目して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	【知識・技能】 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の思想と芸術家およびその作品に着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解している。 【思考・判断・表現】 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の考え方や芸術家およびその作品を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の思想と芸術家およびその作品に着目して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1) 人間としての在り方生き方の自覚・善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解する。 ・ 近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	3. 様々な人生観・倫理観・世界観Ⅱ ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解する。 ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕などについて理解する。 ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	【知識・技能】 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解している。 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 古代ギリシアの思想・キリスト教・イスラーム教・仏教・儒教などの基本的な考え方を代表する先哲の考え方や芸術家およびその作品を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	9

1 学 期	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1) 人間としての在り方生き方の自觉 ・ 真理、存在などに着目して、世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解する。 ・ 近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	3. 様々な人生観・倫理観・世界観Ⅱ ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解する。 ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕などについて理解する。 ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ○ 西洋近代思想の基本的な考え方を手掛かりとして、間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	【知識・技能】 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解している。 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の思想に着目して、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を代表する先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 西洋近代思想の基本的な考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (2) 国際社会に生きる日本人としての自觉 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解する。 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	4. 国際社会に生きる日本人としての自觉 ○ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解する。 ○ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	【知識・技能】 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (2) 国際社会に生きる日本人としての自觉 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解する。 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	4. 国際社会に生きる日本人としての自觉 ○ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解する。 ○ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	【知識・技能】 ・ 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	B 現代の諸課題と倫理 (1) 自然と科学技術に関わる諸課題と倫理 ・ 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	・ 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	【思考・判断・表現】 ・ 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。	○			10
	B 現代の諸課題と倫理 (2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理 ・ 福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	・ 福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	【思考・判断・表現】 ・ 福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	○			10
						合計	78

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	○「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解する。 ○各国の政治体制と民主政治について考察する。 ○ファシズムが生み出された背景や、民主政治の課題について理解する。	1. 民主政治の基本原則 ○政治の役割と民主政治への道のりについて理解する。 ○「法の支配」の考え方を踏まえ、立憲主義と民主主義の関係について理解する。 ○法が自分の生活にどのように関係しているか話し合う。	【知識・技能】民主政治の成立や社会契約説についての基礎知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】「法の支配」の考え方や立憲主義について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】法と自分の生活について議論に積極的に参加する。	○	○	○	7
	○人権の国際化のなかで、日本の人権保障はどうあるべきか考察する。 ○「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか考察する。	2. 基本的人権の保障 ○人権の国際化の中で日本の人権保障はどうあるべきか話し合う。 ○「公共の福祉」の適用について、人権が対立する具体的な場面をもとに話し合う。	【知識・技能】○日本国憲法の基本原理と基本的人権の内容を理解する。 【思考・判断・表現】○人権の国際化の中で、人権保障はどうあるべきか考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】○「公共の福祉」の適用について、人権が対立する具体的な場面をもとに話し合う。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	○戦後日本の政党政治の変遷について理解する。 ○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解する。 ○世論の形成過程、NPOやインターネットの影響について理解する。 ○憲法における地方自治の規定や、住民の権利について理解する。	3. 選挙と政党政治 ○「55年体制」や金権政治の問題を踏まえ、細川政権下の政治改革の意義と課題について話し合う。○日本の地方自治にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきか話し合う。	【知識・技能】○地方自治のしくみについて、中央政府と比較して理解する。 【思考・判断・表現】○「55年体制」や金権政治の問題を踏まえ、細川政権下の政治改革の意義と課題について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】○日本の地方自治の課題について、具体例を挙げながら積極的に話し合う。	○	○	○	9
	○9条をめぐる意見や、日本の安全保障体制の変化について理解する。○集団安全保障のしくみが必要とされた背景や、平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解する。 ○国際連合が抱える課題や日本の平和主義について考察する。 ○平和主義の下、今後の日本の安全保障はどうあるべきか考察する。	4. 日本の平和主義と国際政治 ○防衛関係費の増加や、政府の9条解釈の変遷について考察する。 ○国連の集団安全保障のしくみについて理解する。 ○平和主義と国際協調をどのように両立すればよいか話し合う。	【知識・技能】国連憲章、PKO活動などについて基本事項を理解する。 【思考・判断・表現】日本の安全保障法の変化、防衛費の増加について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】平和主義と国際協調のあり方について話し合う。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	○家計および企業の経済活動や、相互関係について理解する。 ○市場における価格の役割や、「市場の失敗」について理解する。 ○経済活動の指標や、景気変動のしくみについて理解する。 ○物価変動が国民生活にどのような影響を与えるか考察する。	5. 市場経済と経済指標 ○日本における株式保有比率変化の理由について理解する。 ○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察する。 ○需要曲線と供給曲線による価格の決定について理解する。	【知識・技能】市場経済や株式会社のしくみについて理解する。 【思考・判断・表現】「市場の失敗」と政府の機能について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】物価変動が国民生活に及ぼす影響について話し合う。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	○金融の役割や、金融政策の手段について理解する。 ○金融の自由化と、日本経済への影響について考察する。 ○財政の役割や持続可能な財政および租税のあり方について考察する。 ○日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。	6. 金融のしくみ、財政の役割 ○金利が生活に与える影響や信用創造のしくみについて理解する。 ○金融政策の変遷とその効果について、諸資料をもとに話し合う。7. 戦後日本経済史 戦後日本経済史を学び、日本経済の抱える課題について考察する。	【知識・技能】金融、財政のしくみや政策、戦後日本経済史の基本的な流れを理解する。 【思考・判断・表現】財政、金融政策の課題について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】○持続可能な財政や租税のあり方について話し合う。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	○貿易と国際収支の基本事項について理解する。 ○為替レートがどのような要因によって変動するか考察する。 ○国際通貨体制の変遷、地域経済統合やFTA・EPAが自由貿易の進展にどのような影響を与えるか考察する。	○円高・円安のメリット・デメリットについて理解する。 ○統計資料をもとに、日本の国際収支の特徴について考察する。 ○IMF・GATT体制や、地域経済統合について考察する。	【知識・技能】貿易や為替の基礎知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】日本の国際収支の変化と戦後日本経済史について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】グローバル化の中で日本経済の課題について話し合う。	○	○	○	10
	全範囲の実践演習 ○全範囲の内容について理解を深める。 ○全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 ○問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 実践演習。個別指導等 ・教材 教科書・副教材（問題集）	【知識・技能】基礎知識を定着させる。 【思考・判断・表現】資料読解など思考問題に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】苦手分野を見出し、積極的に取り組む。	○	○	○	10
							合計

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科 数学

科目 数学Ⅲ

単位数 単位

対象学年組 第 3 学年 組～

教科担当者 （ 1組：原 ） （ 2組：島村 ） （ 3組：伊藤 ） （ 4組：浮葉

使用教科書 （ 高等学校数学Ⅲ

）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】

事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 微分法 【知識及び技能】 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第 n 次導関数 5. 曲線の方程式と導関数 ・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・微分法の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・微分法の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
	B 単元 微分法の応用 【知識及び技能】 導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	・指導事項 1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数のグラフ 5. 方程式、不等式への応用 6. 速度と加速度 7. 近似式 ・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・微分の応用の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・微分の応用の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	C 単元 積分法とその応用 【知識及び技能】 様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。 様々な関数の定積分を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。 【学びに向かう力、人間性等】 定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分 4. 定積分とその基本性質 5. 置換積分法と部分積分法 6. 定積分のいろいろな問題 7. 面積 8. 体積 9. 道のり 10. 曲線の長さ ・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・積分法とその応用の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・積分法とその応用の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
2 学 期	Ⅲ範囲の実践演習 【知識・技能】 数学Ⅲ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学Ⅲ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠⅡⅢⅣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠⅡⅢⅣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	Ⅲ範囲の実践演習 【知識・技能】 数学Ⅲ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学Ⅲ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠⅡⅢⅣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠⅡⅢⅣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	Ⅲ範囲の実践演習 【知識・技能】 数学Ⅲ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学Ⅲ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 高等学校数学Ⅲ ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠⅡⅢⅣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠⅡⅢⅣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	40
							合計

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）			数学	科目	数学C
教科：数学	科 目：数学C	2	単位		
対象学年組：第 3 学年 1 組～	34				
教科担当者：（1組：原 ）	（2組：島村 ）	（3組：伊藤 ）	（4組：浮葉 ）		
使用教科書： 高等学校 数学C 数研出版					
教科 数学	の目標：				

【知識及び技能】	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 空間のベクトル 【知識及び技能】 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標空間における点や図形について考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。 定期考査	・指導事項 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形 ・教材 高等学校 数学C 数研出版 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・空間ベクトルの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・空間ベクトルの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	10
				○	○		1
	B 単元 複素数平面 【知識及び技能】 複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察 【思考力、判断力、表現力等】 図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。 定期考査	・指導事項 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 ・教材 高等学校 数学C 数研出版 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・複素数平面の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・複素数平面の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	8
	C 単元 式と曲線 【知識及び技能】 曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。 定期考査	・指導事項 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・式と曲線の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・式と曲線の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	8
2 学 期				○	○		1
	I AⅡBC全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。 定期考査	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
				○	○		1
	I AⅡBC全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。 定期考査	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
3 学 期				○	○		1
	I AⅡBC全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	20
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科： 理科 科目： 物理 単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 必修選択、自由選択

教科担当者： （必選1,2組、自選：坂本）（必選3,4組：井澤）

使用教科書： （物理（数研出版）

教科 #REF! の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 #REF! の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 【知識及び技能】 速度や加速度のベクトルを用いた扱いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 放物運動における速度ベクトルを水平・鉛直に分解し、定量的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 空気抵抗がはたらく場合や斜面への投射、平面との衝突などの場合について探究する。	指導項目・内容 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト 【思考力、判断力、表現力等】 実験プリント	○	○		7
	第2章 剛体 【知識及び技能】 力のモーメントについて理解している。剛体にはたらく力について、並進運動と回転運動を考えることができる。重心や偶力のモーメントを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剛体にはたらく力のつりあいを理解し、力の関係について説明できる。剛体の傾く条件や滑り出す条件を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 棒のつりあいを調べる実験に主体的に取り組んでいる。厚紙でできた三角形の重心の位置を調べる実験や、直方体の転倒のしやすさを調べる実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 1. 剛体にはたらく力のつりあい 2. 剛体にはたらく力の合力と重心 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	15
	第3章 運動量の保存 【知識及び技能】 運動量と力積について、求め方を理解している。運動量の変化は、その間に物体が受けた力積に等しいことを理解している。記録タイマーを用いて、台車が直線上で衝突し合体するとき、衝突の前後で運動量保存則が成りたつことを検証できる。反発係数の式を用いて、衝突する物体の運動を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動量の変化と力積の関係の式から、物体が受ける力積と平均の力の大きさについて説明することができる。運動量保存則が成りたつ条件を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 台車が受ける力積と運動量の変化の間に成りたつ関係を調べる実験に主体的に取り組んでいる。反発係数を調べる実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数 教材 ・授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	22
	第4章 円運動と万有引力 【知識及び技能】 等速円運動をしている物体の回転の速度、角速度、周期、回転数の諸量の定義が理解できている。遠心力が慣性力の一種であることを理解し、遠心力を含めたつりあいの式を立てることができる。単振り子の周期を表す式を導く過程を理解し、周期を求めることができる。ケプラーの法則、万有引力の法則を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 一定の半径で等速円運動する物体の速さと物体にはたらく向心力の大きさの間の関係を説明できる。慣性力とその他の力の違いについて理解し、説明できる。万有引力の式を用いて、異なる惑星の表面上での重力加速度の大きさを比較することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 慣性力がはたらく方向を調べる実験に主体的に取り組んでいる。ばね振り子や単振り子の周期を調べる実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力 教材 ・授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1

1 学 期	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 【知識及び技能】 ボイル・シャルルの法則を用いて、状態変化後の気体の圧力、体積、絶対温度を求めることができる。気体が熱運動して壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導くことができる。気体の状態変化の、「定積変化」、「定圧変化」、「等温変化」、「断熱変化」を、それぞれp－V図や式で表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の圧力、体積、絶対温度の間の関係について理解している。定積モル比熱と定圧モル比熱の違いを正しく理解し、2つの間に成り立つ関係について説明できる。熱機関のしくみを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 気体の圧力や体積、温度を変えるとき、これらの量の間にどのような関係が成りたっているかを理解しようとしている。気体が状態変化をするとき、エネルギーはどのようになるのかを理解しようとしている。	指導項目・内容 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	17
	第3編 波 第1章 波の伝わり方／第2章 音の伝わり方 第3章 光 【知識及び技能】 波が伝わるようすを、グラフで表現することができる。位相のずれや進行方向の違いなども考慮して、正弦波の式を正しく表すことができる。音の干渉について、音が強めあう条件と弱めあう条件を理解している。光は進んでいくとき、反射、屈折、分散、散乱を行うこと、またその際にどのような法則が成りたっているのかを理解している。ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層、ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音源が特定の時間だけ音を出す場合のドップラー効果について、観測者が音を観測する時間考えることができる。媒質の屈折率と光路長の関係を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音の干渉の実験に主体的に取り組んでいる。レンズや鏡に興味をもち、それによってどのような像ができるかについて理解しようとしている。・ヤングの実験や回折格子による光の干渉実験に主体的に取り組んでいる。	指導項目・内容 第1章 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方 第2章 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 第3章 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	39
2 学 期	定期考査			○	○		1
	第4編 電気と磁気 第1章 電場 【知識及び技能】 電気量保存の法則やクーロンの法則について理解し、関係式を正しく適用できる。電場や電気力線がどのようなものかを理解している。コンデンサーの基本公式を正しく適用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 電気力線と等電位線の関係について説明できる。平行板コンデンサーに誘電体をはさむことによって電気容量が増える理由について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 箔検電器やデジタルマルチメーター、アース線などの働きや役割を理解し、主体的に実験に取り組んでいる。身近なコンデンサーの利用例について興味・関心をもち、コンデンサーの性質などを理解しようとしている。	指導項目・内容 1. 静電気 2. 電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	29
	第4編 電気と磁気 第2章 電流 【知識及び技能】 オームの法則の意味をミクロの視点で理解している。キルヒホッフの法則を用いて回路内の電流や電圧降下を求めることができる。電池の起電力や内部抵抗の関係やホイートストンブリッジ、電位差計など未知の抵抗値や起電力を調べる方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 温度と抵抗率の関係について理解し、説明することができる。半導体のキャリアについて理解し、真性半導体と不純物半導体の性質の違いを判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 電流の流れ方は物質の種類やつなぎ方によってどのように異なるかということに興味をもっている。半導体が多く電子機器に利用されていることを知り、半導体に興味や関心をもつことができる。	指導項目・内容 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第4編 電気 第3章 電流と磁場 【知識及び技能】 直線電流、円形電流、ソレノイドの電流がつくる磁場について理解している。平行電流が及ぼしあう力について、定量的・定性的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 電流が磁場から受ける力の実験において、アルミパイプを目的の方向に動かせるように磁場、電流の向きを調整できる。フレミングの左手の法則を用いて、電流の流れている導線がどの向きに力を受けるかを判断することができる。ローレンツ力とは何かを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 オーロラなどのローレンツ力の例に興味・関心を示し、ローレンツ力について理解しようとしている。	指導項目・内容 1. 磁場 2. 電流のつくる磁場 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	21
	第4編 電気 第4章 電磁誘導と電磁波 【知識及び技能】 自己誘導や相互誘導などの関係式を適用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 コイルを回転させる速さと誘導起電力の大きさの関係を説明できる。抵抗、コイル、コンデンサーに流れる交流電流に対する位相差について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 磁場を変化させると電流が生じることに興味・関心を持ち、電磁誘導について理解しようとしている。相互誘導と変圧器との関係から自己誘導・相互誘導に学習する意欲・関心をもっている。	指導項目・内容 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路 5. 電磁波 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	21
	第5編 原子と光 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核 【知識及び技能】 電子の比電荷、ミリカンの実験を踏まえた電気素量の導出について理解している。物質波について理解している。放射能と放射線の測定単位の定義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 X線回折とX線のコンプトン効果について、波動性と粒子性を踏まえて説明できる。 α 線、 β 線、 γ 線の正体や、 α 崩壊、 β 崩壊のしくみを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 光電効果の原理を踏まえて、考え、説明することができる。核エネルギーとは何か、どうしてあのような莫大な量のエネルギーを取り出せるのかに、興味・関心を示し、理解しようとしている。	指導項目・内容 第1章 1. 電子 2. 光の粒子性 3. X線 4. 粒子の波動性 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	18
							合計 234

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

理科 科目 化学

教 科： 理科 科 目： 化学 単位数： 6 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 4 組
教科担当者：（1、2 必選組：高田）（ 3、4 必選組：酒井）（ 自選組：高E（ 自選組：酒井 ）
使用教科書：（ 高等学校 化学 啓林館 ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		・化学に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・観察、実験に関する技能を身につけている。	・化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。 ・レポート等を様式や期日を守って提出できる。 ・授業や小テストなどに積極的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1－1 結晶構造 【知識及び技能】 ・面心立方格子，六方最密構造，体心立方格子の単位格子について理解し知識として身につけている。 ・結晶の種類と特徴について理解し知識として身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・面心立方格子，六方最密構造，体心立方格子の単位格子について論理的に考え計算することができる。 ・結晶の種類と特徴について理解し論理的に説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・面心立方格子，六方最密構造，体心立方格子 ・分子結晶や共有結合の結晶 ・ダイヤモンド，黒鉛，二酸化ケイ素の構造 ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・面心立方格子，六方最密構造，体心立方格子の単位格子について理解し知識として身につけている。 ・結晶の種類と特徴について理解し知識として身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・面心立方格子，六方最密構造，体心立方格子の単位格子について論理的に考え計算することができる。 ・結晶の種類と特徴について理解し論理的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	1－2 気体の性質 【知識及び技能】 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・実験を行い、その説明を科学的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・ボイルの法則・シャルルの法則 ・ボイル・シャルルの法則 ・気体の状態方程式・理想気体と実在気体の違い ・水上置換による気体の捕集について、捕集気体の分圧の求め方 ・相図 ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・実験を行い、その説明を科学的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	1－3 溶液 【知識及び技能】 ・溶解のしくみ、溶解度、沸点上昇、浸透圧、コロイドについて、基本的原理と知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・溶液の溶解の仕方について、理論的に考えることができる。 ・溶解度について、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・溶解平衡 ・純溶媒と不揮発性の物質を溶かした希薄溶液の蒸気圧 ・蒸気圧降下、沸点上昇 ・逆浸透 ・ファントホッフの法則 ・コロイド粒子，真の溶液とコロイド溶液の違い ・コロイド溶液の性質・疎水コロイドと凝析・親水コロイドと塩析，保護コロイド ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・溶解度の定義や法則を理解して基礎的計算問題を解くことができる。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、基礎的計算問題を解くことができる。 ・コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身につけている。 【思考・判断・表現】 ・溶液の溶解の仕方や溶解度、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイド溶液の性質について実験を行い、その説明を科学的に表現できる。関連計算問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	考查 1			○	○		1
	1－4 化学反応と熱・光エネルギー 【知識及び技能】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。実験を通して探究し、ついで見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・反応エンタルピー ΔHと反応エンタルピーの符号 ・状態変化に伴うエンタルピー変化 ・反応エンタルピーの種類 ・エントロピー ・ヘスの法則（総熱量保存の法則） ・結合エンタルピー ・ヘスの法則から、結合エンタルピーを用いて反応エンタルピーを求める ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、エネルギー図を書き、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができ関連計算問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				10

1 学 期	2－1 反応の速さとしくみ 【知識及び技能】 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・濃度・温度・触媒と反応速度の関係 ・均一触媒と不均一触媒 ・活性化エネルギーと触媒 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができ、関連計算問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				7
	2－2 化学平衡 【知識及び技能】 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・可逆反応、不可逆反応、正反応、逆反応 ・平衡状態、反応速度 ・平衡定数 ・平衡定数と気体の分圧の関係 ・酸・塩基の電離定数 ・緩衝液・緩衝作用と滴定曲線 ・溶解度積 ・溶解平衡と共通イオン効果 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解して基礎的計算問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。関連計算問題を解くことができる。また、pHを計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	3－1 非金属元素 【知識及び技能】 ・非金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実験を通して探究し、非金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	水素の単体の製法・性質、非金属元素の水素化合物、貴ガス、酸素の製法、オキシ酸、塩素、臭素、ヨウ素の単体の製法・性質、ハロゲン化水素、硫黄の単体、硫化水素、二酸化硫黄の製法・性質、濃硫酸と希硫酸の性質・アンモニアの製法、ハーバー・ボッシュ法、硝酸の製法、黄リンと赤リン、炭素の単体、一酸化炭素、二酸化炭素の製法・性質、二酸化ケイ素、ケイ酸ナトリウムの性質	【知識・技能】 ・非金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験を通して探究し、非金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	考查2			○	○		1
2 学 期	3－2 典型金属元素 【知識及び技能】 ・金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実験を通して探究し、金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	アルカリ金属の単体、製法、性質、水酸化ナトリウムの製法、炭酸ナトリウムの性質、アンモニアソーダ法(ソルベー法)、アルカリ土類金属の単体、酸化カルシウム、水酸化カルシウム、炭酸カルシウム、塩化カルシウム、硫酸カルシウム、硫酸バリウムの性質・アルミニウムの単体の製法・性質・用途、酸化アルミニウム、水酸化アルミニウムの性質、アルミニウムイオンの酸、塩基との反応、Pb2+を含む水溶液と様々な水溶液との沈殿反応、合金、亜鉛両性金属、亜鉛イオンの酸、塩基との反応 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・金属元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験を通して探究し、金属元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	3－3 遷移元素 【知識及び技能】 ・遷移元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実験を通して探究し、遷移元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	遷移元素の特徴、錯イオン、酸化鉄、鉄(Ⅱ)化合物、鉄(Ⅲ)化合物、鉄イオンの反応、銅(Ⅱ)イオン、銀イオン、クロム酸イオン、ニクロム酸イオン、マンガニオン、レアメタル、系統分離 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・遷移元素の反応から酸塩基反応や酸化還元反応への理解を深め、科学的な探究に必要な実験に関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験を通して探究し、遷移元素の反応における酸塩基反応や酸化還元反応の扱われ方について見いだして表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	4－1 有機化合物の特徴と分類・脂肪族炭化水素 【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類や有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・炭化水素の分類・官能基・異性体 ・元素分析 ・アルカンCnH2n+2・アルカンの構造異性体 ・アルケンCnH2n・シス・トランス異性体 ・アルケンの二重結合への付加反応、酸化反応、付加重合 ・アルキンCnH2n-2 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・有機化合物の特徴と分類や有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 【思考・判断・表現】 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15

2 学 期	4－2 酸素を含む脂肪族化合物 【知識及び技能】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・アルコールの構造と分類方法 ・アルコールの沸点・融点、水溶性、金属ナトリウムとの反応性 ・第一級アルコール、第二級アルコール、第三級アルコールの酸化・エーテルの性質・アルデヒドの酸化還元反応・ケトンの製法・ヨードホルム反応・カルボン酸・エステル・けん化 ・せっけん・ミセル ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考・判断・表現】 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	考査3			○	○		1
	4－3 芳香族化合物 【知識及び技能】 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・ベンゼンの構造・芳香族化合物、オルト・メタ・パラの構造異性体・ベンゼンの芳香族置換反応・フェノール類の性質・フェノールの製法、クメン法・芳香族カルボン酸・サリチル酸・アニリンの合成方法・ジアゾカップリング・芳香族化合物の混合物から各化合物を分離 ・油脂の構造 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 【思考・判断・表現】 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	22
	4－4 高分子化合物・天然高分子化合物 【知識及び技能】 ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にかかわる。 ・見通しをもって、科学的に考察する。	・単量体、重合体・平均分子量・グルコース、スクロース、マルトース・単糖類の分子式、分類と性質・銀鏡反応、フェーリング液の還元反応・フルクトースの水溶液やガラクトースの構造・二糖類・マルトース、スクロースの構造・デンプンの特徴と構造・セルロースの加水分解 ・ニトロセルロース・再生繊維と半合成繊維・α-アミノ酸・アミノ酸の電気泳動・アミノ酸の電離平衡・ペプチド結合・アミノ酸の反応・タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造、四次構造・タンパク質の塩析、変性・ビウレット反応、キサントプロテイン反応、硫黄の検出反応、窒素の検出反応・酵素・核酸の構成、DNAの構造と塩基の相補性 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	21
	考査4			○	○		1
3 学 期	4－5 合成高分子化合物 【知識及び技能】 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・ナイロン66、ナイロン6の構造・ポリエチレンテレフタレート - の構造・ビニロンの製法 ・熱可塑性樹脂の特徴・熱硬化性樹脂の特徴 ・フェノール樹脂の製法・イオン交換樹脂・天然ゴム（生ゴム）の特徴・合成ゴムの製法 ・陽イオン交換樹脂、陰イオン交換樹脂の特徴 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	60
	総合問題演習						
							合計 234

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 田中 ）

使用教科書：（ 数研 生物 ）

教科 理科

の目標：

【知 識 及 び 技 能】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、思考力、判断力、表現力等を働かせながら、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
1 学 期	生物の進化 【知識・技能】 生命の起源と地球環境の変遷、生物の遺伝的多様性が生じるしくみを理解する。 【思考・判断・表現】 生命の起源を地球環境の変遷と関連付けて考える。様々なしくみによって生じる、生物の遺伝子の組み合わせの変化を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1 生命の起源 2 生物の変遷と地球環境の変化 3 有性生殖 4 遺伝子の多様な組み合わせ 5 突然変異と進化 6 進化の要因 7 生物の分類と系統 8 3 ドメイン説 9 人類の起源と進化 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・生命の起源と変遷、地球環境の変化がわかる。 ・減数分裂と受精の意義、遺伝の規則性がわかる。 ・生物の変異と進化、自然選択のしくみがわかる。 ・生物の分類と系統、生物の分類ごとの特徴がわかる。 【思考・判断・表現】 ・化学進化や生命の起源を考えることができる。 ・生物の進化を、関係する地球環境の変化と関連させて考えることができる。 ・減数分裂と受精により生じる遺伝子の組み合わせを考えることができる。 ・遺伝子の連鎖と組換えにより生じる遺伝子の組み合わせの変化を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	生命現象と物質 【知識・技能】 生物の基本単位である細胞の構造と働きを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 【思考・判断・表現】 生命を構成する物質の機能や特性、および呼吸や光合成のしくみについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 10 物質と細胞 11 生命現象とタンパク質 12 代謝とエネルギー 13 呼吸 14 光合成 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・細胞の構造と細胞小器官の特徴、タンパク質の構造や生命現象における役割がわかる。 ・エネルギーの出入りとATPの分解・合成の関係がわかる。 ・呼吸と発酵、光合成のしくみがわかる。 【思考・判断・表現】 ・生体膜機能や酵素の作用について考えることができる。 ・解糖系やクエン酸回路、電子伝達系について考えることができる。 ・光化学系Ⅱ・Ⅰにおける反応、カルビン回路について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	25
	遺伝情報の発現と発生 【知識・技能】 遺伝情報の複製や発現のしくみ、遺伝子を扱った技術の原理を理解する。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の複製や発現のしくみとそれらを利用した技術について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 15 遺伝情報の複製 16 遺伝子の発現 17 遺伝子の発現調節 18 遺伝子を扱った技術 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・遺伝情報の複製のしくみがわかる。 ・原核生物と真核生物の遺伝子発現調節の違いがわかる。 ・バイオテクノロジーの基本的な原理がわかる。 【思考・判断・表現】 ・DNAの複製や遺伝子発現のしくみ、遺伝情報の変化について考えることができる。 ・原核生物と真核生物の遺伝子発現調節について考えることができる。 ・遺伝子を扱った技術の活用について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1

2 学 期	遺伝情報の発現と発生 【知識・技能】 動物の配偶子形成と受精、初期発生と形態形成の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 動物の配偶子形成と受精、初期発生と形態形成のしくみについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 19 動物の配偶子形成と受精 20 初期発生の過程 21 発生と遺伝子の発現 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・動物の配偶子形成と受精のしくみがわかる。 ・初期発生の過程がわかる。 ・動物の細胞の分化と形態形成がわかる。 【思考・判断・表現】 ・配偶子形成と受精の過程について考えることができる。 ・卵割から器官分化の始まりまでの過程について考えることができる。 ・細胞の分化と形態形成のしくみを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	20
	生物の環境応答 【知識・技能】 動物が刺激を受容し、神経系による処理を経て効果器を機能させるしくみを理解する。動物の行動の種類としくみを理解する。被子植物の生殖と発生、器官形成の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 動物が刺激を受容し、神経系による処理を経て効果器を機能させるしくみについて考える。動物の行動の種類としくみについて考える。被子植物の生殖と発生、器官形成の過程について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 22 刺激の受容 23 神経 24 神経系 25 効果器 26 生得的行動 27 学習 28 植物の生殖と発生 29 発芽と成長 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・各種の受容器の構造とはたらきがわかる。 ・神経の伝導と伝達のしくみがわかる。 ・筋収縮の詳細なしくみがわかる。 ・動物の生得的行動と学習行動がわかる。 ・被子植物の重複受精がわかる。 ・植物の光受容体と植物ホルモンの機能がわかる。 【思考・判断・表現】 ・眼や耳のはたらきを考えることができる。 ・情報の伝導・伝達を考えることができる。 ・筋肉の働きを考えることができる。 ・動物個体の生得的な行動と、学習について考えることができる。 ・被子植物の配偶子形成と受精、栄養器官と生殖器官の形成過程について考えることができる。 ・植物の光受容体及び植物ホルモンの機能を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業に能動的に参加している。 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	20
	生態と環境 【知識・技能】 生態系における生物の個体群の特徴や生物間の関係を理解する。生態系における物質の生産や循環の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 生態系における生物の個体群の変動について考える。生態系における物質の生産や循環の過程について考える。生態系に影響を及ぼすさまざまな要因について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 30 個体群とその変動 31 種内関係 32 種間関係 33 生態系と物質生産 34 生態系と人間生活 ・教材 教科書、問題集、実験器具、各種生物試料、PC等	【知識・技能】 ・個体群とその変動がわかる。 ・種内関係および種間関係がわかる。 ・生態系と物質生産、および物質循環がわかる。 ・生態系と生物多様性がわかる。 【思考・判断・表現】 ・個体群の分布、成長曲線、密度効果について考えることができる。 ・個体群の特徴に種内関係が反映されることや、被食者―捕食者相互関係、共生、寄生などの異種個体群間の相互関係を考えることができる。 ・生態系における物質生産の特徴や、物質循環と生物の関わりについて考えることができる。 ・生物多様性や個体群の変動に影響を与える要因について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	生物・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物の全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物の全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 共通テスト過去問題 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物の全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物の全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
3 学 期	生物・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物の全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物の全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・個別指導 ・教材 共通テスト過去問題、個別試験過去問題、教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物の全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物の全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				60
							合計 234

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育								
教 科： 保健体育	科 目： 体育	単位数： 2 単位						
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組								
教科担当者：（1・2組：高田・谷口・羽場）（3・4組：梶田・谷口・羽場）（5・6組：高田・谷口・羽場）（7・8組：梶田・羽場・宮本）								
使用教科書：（ 大修館書店 新高等保健体育 ）								
教科 保健体育 の目標：								
【知 識 及 び 技 能】 各種の運動特性に応じた技能や安全についての知識及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。								
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康について、自他の課題を発見し、課題解決に向け、合理的、計画的に思考・判断する力を身につけるようにする。								
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
科目 体育 の目標：								
<table><tr><th>【知識及び技能】</th><th>【思考力、判断力、表現力等】</th><th>【学びに向かう力、人間性等】</th></tr><tr><td>各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、運動技能を高め、体力の向上と健康の保持増進の必要性について理解し、それらの技能を身につけられるようにする。</td><td>各種の運動における自他の課題を発見し、合理的、計画的な実践を通して、課題解決に向けて思考・判断する力及び自分の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。</td><td>運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯にわたり継続して運動に親しむ態度を身につけられるようにする。</td></tr></table>			【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、運動技能を高め、体力の向上と健康の保持増進の必要性について理解し、それらの技能を身につけられるようにする。	各種の運動における自他の課題を発見し、合理的、計画的な実践を通して、課題解決に向けて思考・判断する力及び自分の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。	運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯にわたり継続して運動に親しむ態度を身につけられるようにする。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】						
各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、運動技能を高め、体力の向上と健康の保持増進の必要性について理解し、それらの技能を身につけられるようにする。	各種の運動における自他の課題を発見し、合理的、計画的な実践を通して、課題解決に向けて思考・判断する力及び自分の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。	運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯にわたり継続して運動に親しむ態度を身につけられるようにする。						

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体育理論 【知識及び技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を理解できるように指導する。 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会の設計にの仕方について考えられるようにする。	【知識】 スポーツには、乳・幼児期から高齢期に至るライフステージごとに、体格や体力の変化などに見られる身体的特徴、精神的ストレスの変化などに見られる心理的特徴、人間関係や所属集団の変化などに見られる社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	体づくり運動 【知識及び技能】 体の構造や運動の原則を理解するとともに、運動の特性に応じた動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動を通して、自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて、取り組み方を工夫したり、考えを仲間に伝えることができる力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に自主的・主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保しようとする力を身につけさせる。	・新体力テストを実施し、現在の体力を把握し、今年度の授業の目標を立てるようにする。 ・一人での運動、複数人での運動を通して、体の構造や効果的な運動の仕方を学び、仲間と強調して運動することの楽しさが実感できるよう指導する。 ・各競技の動きと関連付けた運動を実施することで、これからの授業へのつながりが意識できるよう指導する。 ・運動に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 体づくり運動についての行い方や実生活への取り入れ方について理解し、基本的な運動の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 体力の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための計画を立てるとともに、自己や仲間の課題に応じて、運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動に自主的・主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保しながら、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わうことができる。	○	○	○	8
	サッカー 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・サッカーの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	
	ソフトボール 【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備によって攻防ができるよう基本的な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・ソフトボールの基本動作である送球や捕球、バット操作が身につけられるようにスモールステップでそれぞれの技能を指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 安定したバット操作と走塁での香華w気、ボール操作と連携した守備によって攻防を行うことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	

1 学期	バスケットボール 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バスケットボールの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バスケットボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	14
	バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ネット際の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バレーボールの基本動作である動きや基本的なパス、レシーブを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バレーボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	
	テニス 【知識及び技能】 テニスの基本的な動作や用具の安定した操作を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・テニスの基本的な動きやラケットの基本動作を習得し、ラリーや攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・ペアによる話し合いを通して、練習やゲームを行い、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・状況に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール・ラケット操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テニスの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	
2 学期	サッカー 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・サッカーの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	30
	ソフトボール 【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備によって攻防ができるよう基本的な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・ソフトボールの基本動作である送球や捕球、バット操作が身につけられるようにスモールステップでそれぞれの技能を指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 安定したバット操作と走塁での香華w気、ボール操作と連携した守備によって攻防を行うことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	
	バスケットボール 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バスケットボールの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通し、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バスケットボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしたり、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○	

2 学 期	バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ネット際の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バレーボールの基本動作である動きや基本的なパス、レシーブを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通して、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バレーボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
	テニス 【知識及び技能】 テニスの基本的な動作や用具の安定した操作を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・テニスの基本的な動きやラケットの基本動作を習得し、ラリーや攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・ペアによる話し合いを通して、練習やゲームを行い、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・状況に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール・ラケット操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テニスの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
	サッカー 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・サッカーの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通して、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
3 学 期	ソフトボール 【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備によって攻防ができるよう基本的な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・ソフトボールの基本動作である送球や捕球、バット操作が身につけられるようにスモールステップでそれぞれの技能を指導する。 ・チームごとでの対話を通して、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 安定したバット操作と走塁での香華w気、ボール操作と連携した守備によって攻防を行うことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
	バスケットボール 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ゴール前の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バスケットボールの基本動作である動きや基本的なパス、ドリブル、シュートを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通して、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バスケットボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
	バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じた基本的な動作や仲間と積極的に関わり、ネット際の攻防における連携した動きを身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・バレーボールの基本動作である動きや基本的なパス、レシーブを習得し、攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・チームごとでの対話を通して、練習やゲームを行うことで、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・授業ごとにPDCAサイクルをチーム単位で行うことで常に思考判断の場を設定できるようにする。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間、チームの課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バレーボールの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
	テニス 【知識及び技能】 テニスの基本的な動作や用具の安定した操作を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自他やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、練習や作戦を工夫し、自己の考えたことを他者に伝える力を身につけられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して互いに高め合おうとする力を身につけられるようにする。	・テニスの基本的な動きやラケットの基本動作を習得し、ラリーや攻防を楽しむゲームが成立するよう指導する。 ・ペアによる話し合いを通して、練習やゲームを行い、課題に応じた思考判断や協調性を養えるよう指導する。 ・状況に応じて、タブレット端末を使用し、自己や仲間の動きを客観的にみる場を設定する。	【知識・技能】 攻防を展開するための安定したボール・ラケット操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、効果的な練習や作戦を選び、仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テニスの学習に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、仲間と協力して、互いに高め合おうとしている。	○	○	○
						合計
						78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 **外国語** **科目** **英語コミュニケーションⅢ**
 教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： （ 1, 5組：渡邊 ） （ 2, 4, 8組：志田 ） （ 3, 6, 7組：新井 ）
 使用教科書： （ ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATIONⅢ ）
 教科 外国語 の目標：

[illegible]

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 国語 科目 古典演習			
教 科： 国語	科 目： 古典演習	単位数： 4	単 位
対象学年組：第 3 学年 4 組～ 8 組			
教科担当者：（ 1, 2組：堀田 ）（ 5, 8組：上村 ）（ 6, 7組：藤原 ）			
使用教科書：（ 古典探究 筑摩書房 ）			
教科 国語	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。		
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
科目 古典探究	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	古文編 第3章 長編の魅力～物語（一） 源氏物語「車争い（葵巻）」 ○長編物語の展開と人物の状況や 思いを理解する ※『源氏物語』の虚構 鈴木日出男	・指導事項 ①語句の正確な理解によって、場面 や状況を的確に捉える。 ②登場人物の心理や行動の描き方を 深く味わう。 ③助詞の用法を理解する。 ④敬語の用法を理解する。 ・源氏物語小テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「源氏物語」に用いられている語句の意味や用法を理解 し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し て、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 【思考・判断・表現】 「源氏物語」の成立した背景や他の作品などとの関係を 踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作 品の価値について考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の 言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	○	○	○	18
	漢文編 第2章 主張と文体 「五柳先生伝」 ○多面的・多角的な視点を養う	・指導事項 ①伝記文学について理解する。 ②本文に用いられた句法を理解す る。 ③漢文の特色を声に出して味わう。	【知識・技能】 「五柳先生」における文の成分の順序や照応、文章の構 成や展開の仕方について理解を深めることができている。 【思考・判断・表現】 故事成語という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現 に注意して内容を的確に捉えることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。	○	○	○	9
	定期考査						1
	古文編 第4章 自己を語る～日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 ○自分を語る表現を探究する ○文章の構成や展開に注意し、 作者の考えを理解する	・指導事項 ①作者は周囲の人物をどのように見 ていたのか、その人物との関係に留 意しつつ、文章から読み取る。 ・古文単語小テスト ・明説漢文確認テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「和泉式部日記」に表れている、言葉の響きやリズム、 修辭などの表現の特色について理解を深めることができ ている。 【思考・判断・表現】 「和泉式部日記」の読解を通して、関心をもった事柄に 関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの の見方、感じ方、考え方を深めることができている。 和泉式部の内面と外からの評価を考え合わせ、自分の和 泉式部像を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めよ うとしている。	○	○	○	18
	漢文編 第4章 言動の真意～史伝 「怒髮上衝冠」 ○背景や状況を踏まえ、登場人物 の言動の真意を理解する	・指導事項 ①登場人物の言動をまとめ、司馬遷 がどのように当時の武将を描いてい るか、把握する。 ②本文に用いられた句法を理解す る。 ③漢文の特色を声に出して味わう。	【知識・技能】 「史記」を通して、時間の経過による言葉の変化や、古 典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解 を深めることができている。 【思考・判断・表現】 「史記」について、内容や解釈を自分の知見と結び付 け、考えを広げたり深めたりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めよ うとしている。	○	○	○	9
	定期考査						1

2 学 期	古文編 第6章 歴史を紡ぐ～物語(二) 大鏡「道長、栄華への第一歩」 ○物語の解釈を踏まえて、自分 なりの考えを深める	・指導事項 ①具体的なエピソードを通して登場 人物の人となりを読み取る。 ②本文の主語は何か考える。 ・古文単語小テスト ・明説漢文確認テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「大鏡」を読むことを通して、我が国の文化の特質につ いて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 「大鏡」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏ま えながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の 価値について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の 言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	○	○	○	18
	漢文編 第4章 行動の真理～史伝 史記「刎頸之交」 ○背景や状況を踏まえ、登場人物 の言動の真意を理解する	・指導事項 ①登場人物の言動をまとめ、司馬遷 がどのように当時の武将を描いてい るか、把握する。 ②本文に用いられた句法を理解す る。 ③漢文の特色を声に出して味わう。	【知識・技能】 「史記」を通して、時間の経過による言葉の変化や、古 典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解 を深めることができる。 【思考・判断・表現】 「史記」について、内容や解釈を自分の知見と結び付 け、考えを広げたり深めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めよ うとしている。	○	○	○	11
	定期考査						1
	古文編 第3章 長編の魅力～物語(一) 源氏物語「心づくしの秋」 ○長編物語の展開と人物の状況や 思いを理解する	・指導事項 ①語句の正確な理解によって、場面 や状況を的確に捉える。 ②登場人物の心理や行動の描き方を 深く味わう。 ③助詞の用法を理解する。 ④敬語の用法を理解する。 ・古文単語小テスト ・明説漢文確認テスト ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「源氏物語」の読解を通して、先人のものの見方、感じ 方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方 を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること ができる。 【思考・判断・表現】 「源氏物語」の読解を通して、関心をもった事柄に関連 する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見 方、感じ方、考え方を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言 語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、 自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	18
	古文・漢文 入試問題演習 「共通テスト対策 古典完22」他 ○共通テスト型マーク問題に慣 れる	・指導事項 演習問題に取り組み、解法解説 を含む共通テスト対策を実施する。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解して いる。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判 断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問題に意欲的に取り組 んでいる。	○	○	○	11
	定期考査						1
3 学 期	古文・漢文 入試問題演習 「共通テスト対策 古典完22」他 ○共通テスト型マーク問題に慣 れる	・指導事項 演習問題に取り組み、解法解説 を含む共通テスト対策を実施する。 ・教材 種々の共通テスト対策問題集 センター試験等過去問題	【知識・技能】 選択問題が中心となる共通テストの解法の基本を理解して いる。 【思考・判断・表現】 読解を踏まえて、本文の正確な把握と、細部の正誤の判 断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら探して、新たな問題集や過去問題に意欲的に取り組 んでいる。	○	○	○	40
							合計
							156

合計	156
----	-----

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科			地理歴史	科目	日本史演習
教 科： 地理歴史			科 目： 日本史演習	単位数： 4	単位
対象学年組：第 3 学年 6～8 組					
教科担当者：（ 山本 ）					
使用教科書：（ 『詳説日本史』山川出版社 ）					
教科 地理歴史			の目標：		
【知 識 及 び 技 能】			世界の地理的特色と日本及び世界の歴史について理解し、諸資料からまとめる技能を身に付ける。		
【思考力、判断力、表現力等】			地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し、多角的に考察し、効果的に説明し議論する力を養う		
【学びに向かう力、人間性等】			課題を主体的に解決しようとする態度を養い、わが国への愛情、他国の文化を尊重する自覚を深める。		
科目 日本史演習			の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国、他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第8章近世の幕開け 第9章幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	・指導事項 幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】幕藩体制が確立する過程における様々な画期について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、幕藩体制が確立する過程における様々な画期について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、幕藩体制が確立する過程における様々な画期について、課題を設け追求する。	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1
	第10章幕藩体制の動揺 第11章近世から近代へ 【知識及び技能】政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	・指導事項 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について多面的・多角的に考察する。明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】幕藩体制の崩壊と新政権の成立について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について課題を設け追求する。	○	○	○	32
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第12章近代国家の成立 第13章近代国家の展開 【知識及び技能】立憲体制への移行、国民国家の形成等の諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】近代を考察することを通じて、当時の日本に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 立憲体制への移行、国民国家の形成等について多面的・多角的に考察する。国民生活の変化、認識の変化、軍国主義の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】立憲体制への移行、国民国家の形成等について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、立憲体制への移行、国民国家の形成等について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、立憲体制への移行、国民国家の形成等について、課題を設け追求する。	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
	第14章近代の産業と生活 第15章恐慌と第二次世界大戦 共通テスト歴史総合分野 【知識及び技能】諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解し、国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考力、判断力、表現力等】日本の国際的地位の変化を理解し、国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	・指導事項 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容に関する問いに対して、基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容について課題を設け追求する。	○	○	○	33
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 実践演習。個別指導等 ・教材 教科書・副教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	40
							合計
							156

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習α

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史演習α 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 6 組～ 8 組

教科担当者：（ 赤羽 ）

使用教科書：（ 『詳説日本史』山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】世界の地理的特色と日本及び世界の歴史について理解し、諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し、多角的に考察し、効果的に説明し議論する力を養

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、わが国への愛情、他国の文化を尊重する自覚を深める。

科目 日本史演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国、他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第8章桃山文化 第9章元禄文化 第10章宝暦天明期の文化、化政文化 第14章近代文化の発達 【知識及び技能】日本史文化史の流れに着目して、諸資料から情報を読み取っている。 【思考力、判断力、表現力等】日本史文化史の流れに着目して、多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】文化史の発達をもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	・指導事項 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、近世から近代、現代の文化史について通観して多面的・多角的に考察する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】各時期の文化史の特色、展開について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、各時期の文化史の特色や展開について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習したことをもとに、各時期の文化史の特色や展開について、課題を設け追求する。				27
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	【知識・技能】 原始～現代の展開を学び、演習を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 原始～現代の歴史的展開について考察し、論述する。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 既習範囲の復習、演習を実施する。 共通テストの過去問や入試問題の良問をその時々生徒の学習状況に合わせて実施する。 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】原始～現代の展開について基本的事項を理解する。 【思考・判断・表現】学習したことをもとに、原始～現代の展開について論ずることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 実践演習。個別指導等 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	20
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科： 地理歴史 科目： 世界史演習 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 必修選択

教科担当者： （ 1,2組： 濱野） （5組： 濱野） （6組： 濱野） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 『詳説世界史』山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 世界の地理的特色と日本及び世界の歴史について理解し、諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し、多角的に考察し、効果的に説明し議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、わが国への愛情、他国の文化を尊重する自覚を深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】古代文明の特徴について諸文明の共通点や相違点を踏まえて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	32
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・大学入学共通テスト演習 ・私立大学入学問題演習 ・国公立大学入学問題演習	【知識・技能】 ・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	40
							合計
							156

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）		教科	地理歴史	科目	世界史演習α
教科	地理歴史	科目	世界史演習α	単位数	2 単位
対象学年組	第 3 学年	α1組～	α2組		
教科担当	（α1組：濱野）	（α2組：濱野）	（α3組：濱野）	（組：）	（組：）
使用教科書	『詳説世界史』山川出版社				
教科	地理歴史	の目標：			
【知識及び技能】		世界の地理的特色と日本及び世界の歴史について理解し、諸資料からまとめる技能を身に付ける。			
【思考力、判断力、表現力等】		地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し、多角的に考察し、効果的に説明し議論する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】		課題を主体的に解決しようとする態度を養い、わが国への愛情、他国の文化を尊重する自覚を深める。			
科目	世界史演習α	の目標：			
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第18章 冷戦と第三世界の台頭	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	第19章 冷戦の終結と今日の世界	【知識及び技能】資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・大学入学共通テスト演習 ・私立大学入学試験問題演習 ・国公立大学入学試験問題演習	【知識・技能】 ・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	20
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年) 教科 数学 科目 文系数学演習

教 科： 数学 科 目： 文系数学演習 単位数： 4 単 位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 大塚 ）

使用教科書：（ ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 文系数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBⅢC各単元の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠAⅡBⅢC各単元について、構成要素間の関係に着目し、簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数式的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「Ⅰ数と式」「Ⅱ関数と方程式・不等式」「Ⅲ式と証明、論理」「Ⅳ整数の性質」「Ⅴ場合の数・確率」「Ⅵ図形の性質」「Ⅶ図形と式」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 1 式の計算 2 恒等式・割り算の問題 3 方程式・不等式の解法 4 関数とグラフ 5 最大・最小(1) 6 最大・最小(2) 7 2次方程式の理論 8 種々の方程式の問題 9 不等式の種々の問題 10 式の値、二項定理 11 等式・不等式の証明 12 集合と論証 13 約数と倍数 14 不定方程式 15 整数の性質の種々の問題 16 場合の数、順列 17 組合せ 18 確率 (1) 19 確率 (2) 20 図形の性質 (1) 21 図形の性質 (2) 22 点と直線 23 曲線と直線 24 軌跡 25 領域 26 図形と式の種々の問題 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	B 単元 「Ⅷ三角・指数・対数関数」「Ⅸ微分法・積分法」「Ⅹ数列」「Ⅺベクトル」「Ⅻ統計」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 27 三角比と三角形 28 図形と計量 29 三角関数(1) 30 三角関数(2) 31 指数・対数の計算 32 指数・対数の種々の問題 33 導関数、接線 34 関数の増減・極値 35 最大・最小(微分法) 36 方程式・不等式への応用 37 積分の計算 38 定積分で表された関数 39 面積(1) 40 面積(2) 41 等差数列・等比数列 42 種々の数列 43 漸化式と数列 44 数学的帰納法 45 数列の応用46 ベクトルの基本 47 ベクトルと内積 48 ベクトルと平面図形(1) 49 ベクトルと平面図形(2) 50 ベクトルと空間図形 51 データの分析 52 統計的な推測33 導関数、接線 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
	全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠＡⅡＢＣ全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				39
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							156

年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年)教科

数学

科目 理系数学演習

教 科： 数学

科 目： 理系数学演習

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 自由選択科目

教科担当者：（ 早川 ）

使用教科書：（ ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 数学的活動を通して，数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め，創造性の基礎を培う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し，それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 理系数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBⅢC各単元の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠAⅡBⅢC各単元について、構成要素間の関係に着目し、簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「Ⅰ式と証明」「Ⅴ場合の数・確率」「Ⅵ図形の性質」「Ⅶ図形と式」「Ⅷ三角・指数・対数関数」「Ⅺベクトル」「Ⅻ統計」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 1 式の計算 2 恒等式・割り算の問題 3 方程式・不等式の解法 16 場合の数、順列 17 組合せ 18 確率 (1) 19 確率 (2) 20 図形の性質 (1) 21 図形の性質 (2) 22 点と直線 23 曲線と直線 24 軌跡 25 領域 26 図形と式の種々の問題 27 三角比と三角形 28 図形と計量 29 三角関数(1) 30 三角関数(2) 31 指数・対数の計算 32 指数・対数の種々の問題 46 ベクトルの基本 47 ベクトルと内積 48 ベクトルと平面図形(1) 49 ベクトルと平面図形(2) 50 ベクトルと空間図形 51 データの分析 52 統計的な推測 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 「Ⅱ関数と方程式・不等式」「Ⅲ式と証明、論理」「Ⅳ整数の性質」「Ⅸ微分法・積分法」「Ⅹ数列」 【知識及び技能】 ・公式を理解し、それらを用いることができる。 ・計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・論理的に考察し、証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・指導事項 4 関数とグラフ 5 最大・最小(1) 6 最大・最小(2) 7 2次方程式の理論 8 種々の方程式の問題 9 不等式の種々の問題 10 式の値、二項定理 11 等式・不等式の証明 12 集合と論証 13 約数と倍数 14 不定方程式 15 整数の性質の種々の問題 33 導関数、接線 34 関数の増減・極値 35 最大・最小(微分法) 36 方程式・不等式への応用 37 積分の計算 38 定積分で表された関数 39 面積(1) 40 面積(2) 41 等差数列・等比数列 42 種々の数列 43 漸化式と数列 44 数学的帰納法 45 数列の応用 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBⅢC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
	全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	全範囲の実践演習 【知識・技能】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 数学ⅠAⅡBC全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	40
							合計 156

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 数学 科目 数学ⅠA演習

教科 科： 数学 科 目： 数学ⅠA演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 自由選択科目

教科担当者：（ 原・伊藤・早川

使用教科書：（)

- 教科 数学 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学ⅠA演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠA各単元の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠA各単元について、構成要素間の関係に着目し、簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【数と式】 数と式における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。 集合と命題における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。	1 分母の有利化 2 絶対値を含む方程式・不等式 3 集合 4 必要条件・十分条件 5 放物線の平行移動 6 2次関数の最大・最小(1) 7 2次関数の最大・最小(2) 8 2次不等式 9 放物線とx軸の共有点 10 正弦定理・余弦定理・面積 11 円に内接する四角形 12 空間図形と三角比	【知識・技能】 ・数学ⅠAの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
	【三角比】 図形と計量における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。 【データの分析】 データの分析における公式等を正しく理解し、それらを用いて発展的な問題を解くことができる。 【場合の数と確率】 場合の数と確率における公式等を正しく理解し、それらを用いて発展的な問題を解くことができる。 【図形の性質】 平面の性質における公式等を正しく理解し、それらを用いて発展的な問題を解くことができる。	15 平均値、分散と散らばり 16 データの相関 17 仮説検定の考え方 18 場合の数・順列・組合せ 19 確率の基本 20 反復試行の確率 21 条件付き確率 20 平面図形(1) 21 平面図形(2) 20 空間図形	【知識・技能】 ・数学ⅠAの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
2 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				30
3 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅠAの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅠAの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				20
							合計
							78

年間授業計画 様式例
高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学ⅡBC演習
教科 科： 数学 科 目： 数学ⅡBC演習 単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年
教科担当者： 高山・大塚
使用教科書：（ ）
教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
科目 数学ⅡBC演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅡBC各単元の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅡBC各単元について、構成要素間の関係に着目し、簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【ベクトル】 ベクトルにおける公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。 【式と証明、論理】 式と証明、論理における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。 【三角関数】 三角関数における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。	1 ベクトルの演算と成分 2 ベクトルの内積 3 ベクトルの位置ベクトル 4 空間のベクトルと内積 5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形 7 ベクトル方程式 8 式の値、二項定理 9 等式・不等式の証明 10 式の値、二項定理 11 等式・不等式の証明 12 三角比と三角形 13 図形と計量 14 三角関数(1) 15 三角関数(2)	【知識・技能】 ・数学ⅡBの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅡBの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
	【指数・対数関数】 指数・対数関数における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。 【微分積分】 微分積分における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。 【数列】 数列における公式等を正しく理解し、それらを用いて基本的な問題を解くことができる。	16 指数・対数の計算 17 指数・対数の種々の問題 18 統計的な推測 19 導関数、接線 20 関数の増減・極値 21 最大・最小（微分法） 22 方程式・不等式への応用 23 積分の計算 24 定積分で表された関数 25 面積 26 等差数列・等比数列 27 種々の数列 28 漸化式と数列 29 数学的帰納法 30 数列の応用	【知識・技能】 ・数学ⅡBの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅡBの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	14
	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅡBの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅡBの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				30
2 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅡBの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅡBの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				20
							合計
							78
3 学 期	全範囲の実践演習	・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・数学ⅡBの内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・数学ⅡBの内容に関する知識を活用しながら思考・判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				20
							合計
							78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 物理 科目 物理基礎演習

教科： 物理 科目： 物理基礎演習 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 1組～8組 （自由選択科目）

教科担当者： （ 1～8組：竹内 ）

使用教科書： （ 高等学校 物理基礎 ： 数研出版 ）

教科 #REF! の目標：
【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 #REF! の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 【知識及び技能】 ・変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 ・記録タイマーの使い方を理解し、得られた打点結果から加速度を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・x-tグラフやv-tグラフから、物体の位置や速度を的確に読み取ることができる。 ・落下運動の特徴を理解し、式やグラフを用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。 ・物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	指導項目・内容 ・物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考えることができる。 ・物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフで考えることができる。 ・物体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 ・自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 ・教材 授業プリント、問題集	【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ、振り返りシート	○	○	○	4
	第2章 運動の法則 【知識及び技能】 ・力の表し方とともに、さまざまな力のはたらき方を理解する。 ・質量と重さの違いを理解し、重力、弾性力を計算することができる。 ・さまざまな運動状態における物体について、運動方程式を立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・つりあう2力と作用・反作用の2力の違いを説明できる。 ・さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。 ・運動方程式を用いて、物体がどのような運動をするかを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常での経験と照らし合わせて力のはたらきを観察し、物理学的に理解しようとする。	指導項目・内容 ・物体にさまざまな力のはたらくことを理解する。 ・物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 ・作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを理解する。 ・運動の3法則について、観察や実験を通して理解する。 ・運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦力の特徴を理解し、それを含めた運動について理解する。 ・水圧と浮力の関係について理解する。 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ、振り返りシート	○	○	○	5
	第3章 仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 ・物理における仕事、仕事率を計算することができる。 ・力学的エネルギー保存の法則を導くことができ、式を立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動エネルギーを仕事と関連づけて理解し、両者の関係を説明することができる。 ・種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	指導項目・内容 ・仕事、仕事の原理、仕事率を学習し、物理における「仕事」について理解する。 ・運動エネルギーと仕事の関係について、式を用いて理解する。 ・力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し、法則が成り立つ条件とともに理解する。 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ、振り返りシート	○	○	○	4
	単元テスト	テスト及び事後指導		○	○		1

2 学 期	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 【知識及び技能】 ・セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解する。 ・熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・水を加熱していくときの、物質の状態と構成粒子の熱運動の関係について説明することができる。 ・圧縮発火器を用いた実験において、脱脂綿が発火する理由を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常でよく使われる温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱との関係を主体的に考えようとする。 ・エネルギーとその移り変わりについて、日常での利用例と関連させて理解しようとする。	指導項目・内容 ・熱と熱量を学習したのち、熱平衡、比熱、熱容量、熱量の保存、潜熱について理解する。 ・熱と仕事と同等であることを学習し、内部エネルギー、熱力学の第1法則を理解する。 ・さまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち、エネルギーの保存について理解する。 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	5
	第3編 波動 第1章 波の性質 【知識及び技能】 ・単振動と等速円運動の関係を学習し、波の速さや振動数、波長など、基本的な波に関する物理量について理解する。 ・横波と縦波の定義を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・波の重ねあわせ、波の独立性を踏まえ、2つの波によって生じる波形を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身のまわりには、さまざまな種類の波があることを理解しようとする。 ・ばねを伝わる波や波動実験器などの実験で、波が伝わるようすを意欲的に観察しようとする。	指導項目・内容 ・正弦波と波、振幅、波長、周期、振動数、媒質の振動など、波の要素について学習する。 ・重なりあった波の作図などを通して、定常波が生じるしくみを理解する。 ・パルス波の反射、正弦波の反射について、反射の仕方、反射波と合成波の作図の仕方を理解する。 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	5
	単元テスト	テスト及び事後指導		○	○		1
	第2章 音波 【知識及び技能】 ・音波が疎密波であることを理解し、空気中における音速と温度の関係を式で表すことができる。 ・オシロスコープで表示した音波の波形を比較し、音の振動数、大きさを比べることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・気柱共鳴装置を用いた探究などを通じて、おんさの振動数を測定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身のまわりの事象や現象と結びつけ、音の伝わるようすや音が波であることの特徴を理解しようとする。 ・うなりの観測を通じて、うなりが生じるしくみを主体的に理解しようとする。	指導項目・内容 ・音波の伝わり方を学習し、空気中における音速と温度の関係を理解する。 ・弦や気柱に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係を式を用いて理解する。 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	4
3 学 期	第4編 電気 第1章 物質と電気 第2章 磁場と交流 【知識及び技能】 ・オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗のそれぞれの量を求めることができる。 ・物質の抵抗と太さや長さとの関係を理解し、式で表すことができる。 ・電流が磁場から受ける力の特徴、電磁誘導の特徴を知る。 ・電磁波にはさまざまな種類のあることを知り、利用例を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・長さや太さの異なる物質の抵抗を測定し、長さ、太さとの間にどのような関係があるかを考察する。 ・電磁誘導の特徴を踏まえ、発電機のしくみを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・モーターや電磁誘導に関する実験などに意欲的に取り組んでいる。 ・家庭での電気の使用と関連させて、交流の特徴や送電について考えている。	指導項目・内容 ・摩擦電気を通して電気現象の原因となる電荷を学習し、帯電のしくみについて理解する。 ・ニクロム線などの物質の抵抗と形状の関係について測定し、抵抗率を導入する。 ・モーターが回転するしくみ、発電機で電気が生じるしくみを理解する。 ・直流と交流の違いを知り、交流の性質を踏まえ、変圧器や送電について理解する。 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 ・小テスト、実験・観察 【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポートフォリオ	○	○	○	5
	共通テスト演習問題 【知識・技能】 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 演習問題を通して、科学的に探究する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	内容の総復習と演習	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・小テスト	○	○		5
							合計
							39

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 理 科 科目 化学基礎演習

教 科： 理 科 科 目： 化学基礎演習

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 自由選択科目

教科担当者： （ 高田 ）

使用教科書： （ 高等学校 化学基礎 啓林館 ）

教科 理 科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・化学に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・観察、実験に関する技能を身につけている。	・化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。 ・レポート等を様式や期日を守って提出できる。 ・授業や小テストなどに積極的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	1－1 物質の構成粒子 【知識及び技能】 ・原子の構造 ・電子配置と周期表の基本的概念や原理・法則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを理解する。 ・物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 原子，原子核，電子，陽子，中性子，電気素量，原子番号，質量数，同位体，半減期，電子殻，電子配置，荷電子，貴ガス 周期律，周期表，同属元素，典型元素，アルカリ金属，アルカリ土類金属，ハロゲン，遷移元素，金属元素，非金属元素 ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・原子の構造 ・電子配置と周期表の基本的概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 ・物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる規則性や関係性を見出して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	1－2 化学結合 【知識及び技能】 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合の基本的概念や原理・法則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 組成式，クーロン力，イオン結晶分子，分子式，単原子分子，共有結合，電子対，共有電子対，構造式，価標，原子価，単結合，配位結合，錯イオン，配位子，電気陰性度，極性分子，分子結晶 自由電子，金属結合，延性，展性 ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合の基本的概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 規則性や関係性を見出して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査（中間）			○	○	○	1
	2－1 物質量と化学反応式 【知識及び技能】 ・物質量 ・化学反応式の基本的概念や原理・法則などを理解する。 ・化学変化の量的関係を把握する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 原子量，分子量，式量 物質量，アボガドロ定数，mol，モル質量，アボガドロの法則，標準状態，モル体積，溶液，溶媒，溶質，濃度，質量パーセント濃度，モル濃度，溶解度，再結晶 化学反応式，反応物，生成物，係数，未定係数法，イオン反応式 ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質量 ・化学反応式の基本的概念や原理・法則などを理解している。 ・化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 規則性や関係性を見出して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	2－2 酸と塩基 【知識及び技能】 ・酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できるようにする。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通し、科学的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にかかわる。 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 酸，水素イオン，オキシニウムイオン，塩基，水酸化物イオン，中和，価数，電離度，強酸，強塩基，弱酸，弱塩基 ・教材 資料集他 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができる。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通し、科学的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にかかわる。 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査（期末）			○	○	○	1

2 学 期	2－3 酸化還元反応 【知識及び技能】 - 酸化と還元 の基本的概念や原理・法則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 様々な観察、実験を通し、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 - 主体的にかかわる。 - 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 酸化，還元，酸化還元反応，酸化数還元剤，酸化剤，酸化還元反応式，酸化還元滴定 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 酸化と還元の基本的概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 - 様々な観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し，共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 主体的にかかわる。 - 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				5
	2－3 総合演習 【知識及び技能】 - 基本的概念や原理・法則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 様々な観察，実験を通し，論理的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 - 主体的にかかわる。 - 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 全範囲 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 基本的概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 - 様々な観察，実験を通し，論理的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 主体的にかかわる。 - 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査（期末）			○	○	○	1
3 学 期	2－3 総合演習 【知識及び技能】 - 基本的概念や原理・法則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 様々な観察，実験を通し，論理的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 - 主体的にかかわる。 - 見通しをもって、科学的に考察する。	・指導事項 全範囲 ・教材 資料集他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 基本的概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 - 様々な観察，実験を通し，論理的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 主体的にかかわる。 - 見通しをもって、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
						合計	39

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 理科 科目 生物基礎演習

教 科： 理科 科 目： 生物基礎演習 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 自由選択科目

教科担当者：（ 田中 ）

使用教科書：（ 啓林館 1 版 生物基礎 ）

教科 理科	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などの結果をもとに、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎演習	の目標：
【知識及び技能】	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	生物や生物現象に関わる観察、実験などの結果をもとに、科学的に思考・判断・表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「生物の特徴」の復習 【知識・技能】 生物の基本単位である細胞の構造と働きを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物の多様性と共通性、生命活動に必要なエネルギーと代謝について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 生物の進化と系統 4 細胞と個体の成り立ち 5 真核細胞の構造 6 原核細胞の構造 7 生命活動とエネルギー 8 ATPの構造 9 生体内の化学反応と酵素 10 光合成と呼吸 ・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・顕微鏡やマイクロメーターの使い方を正しく理解している。 ・細胞の構造と生物の成り立ち、生物の類縁関係と共通点・相違点が分かる。 ・ATPの役割や代表的な代謝反応の特徴が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通点と相違点を考えられる。 ・代謝とエネルギーについて考えられる。 ・酵素の働きの特徴を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	3
	「遺伝子とその働き」の復習 【知識・技能】 細胞の働き及びDNAの構造と機能について理解を深める。 【思考・判断・表現】 細胞の働き及びDNAの構造と機能について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 11 生物と遺伝情報 12 DNA の構造と遺伝情報 13 DNA 複製 14 DNA と染色体 15 細胞周期とDNA の分配 16 細胞周期とDNA 量の変化 17 遺伝子発現とタンパク質 18 転写と翻訳 19 遺伝暗号表 20 遺伝子発現と維持 ・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・DNAの構造と化学的性質、及び複製過程の関係が分かる。 ・細胞周期と体細胞分裂の特徴が分かる。 ・塩基配列と遺伝情報の関係、転写と翻訳の過程が分かる。 【思考・判断・表現】 ・DNAの複製や転写で合成される、核酸の塩基配列を予想できる。 ・DNAの塩基配列から対応するアミノ酸配列を予想できる。 ・細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	「ヒトの体の調節」の復習 【知識・技能】 生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係を認識する。 【思考・判断・表現】 体内環境を維持する仕組みの働き方を様々なデータをもとに捉え、体内環境の維持と健康との関係を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 21 恒常性と体液 22 血液凝固と線溶 23 恒常性に関わる神経系 24 ホルモンによる調節 25 血糖濃度の調節のしくみ 26 体温と水分量の調節 27 生体防御の概要 28 異物侵入を阻止するしくみ 29 自然免疫のしくみ 30 獲得免疫のしくみ 31 免疫と医療 ・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・体液や循環系の性質や働きが分かる。 ・肝臓や腎臓、自律神経やホルモンの働きが分かる。 ・物理化学的防御、自然免疫、獲得免疫の違いが分かる。 【思考・判断・表現】 ・恒常性における肝臓や腎臓の働き、及び自律神経やホルモンの関与を総合的に考えられる。 ・血糖濃度や水分量、体温の調節のしくみをデータをもとに考えられる。 ・自然免疫と獲得免疫を対比させ、共通点・相違点や両者の関連を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	3
	「生物の多様性と生態系」の復習 【知識・技能】 生物の多様性と生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性を認識する。 【思考・判断・表現】 生物の多様性と生態系が成り立つ条件、その保全の方法について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 32 生態系における生物の役割 33 種の多様性と食物連鎖 34 生態系と生態ピラミッド 35 生態系のバランスと変動 36 生物多様性と生態系の保全 37 光の強さと植物 38 森林の階層構造と土壌 39 遷移の過程 40 遷移と世界のバイオーム 41 日本のバイオーム ・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生態系の構造を理解し、食物連鎖と生物の量的関係が分かる。 ・生物多様性とヒトの生活の関連が分かる。 ・植生の一次遷移のしくみが分かる。 ・バイオームの特徴と成立要因が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生態系のバランスが保たれる条件を考えられる。 ・植生の一次遷移と植物種、地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%等の変化をデータから読みとれる。 ・環境要因や地理的条件をもとに、成立するバイオームを予想できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

2 学 期	生物基礎・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物基礎・全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物基礎・全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物基礎・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物基礎・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	生物基礎・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物基礎・全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物基礎・全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物基礎・全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物基礎・全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	生物基礎・全範囲の実践演習 【知識・技能】 生物基礎の全範囲の内容について理解を深める。 【思考・判断・表現】 生物基礎の全範囲の内容について思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習や振り返りを通して自らを向上させる。	・個別指導 ・教材 教科書、資料集、問題集、PC等	【知識・技能】 ・生物基礎の全範囲の内容が分かる。 【思考・判断・表現】 ・生物基礎の全範囲の内容に関する各種データや知識を活用しながら思考・判断・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に積極的に取り組み、課題を分析している。				10
							合計 39

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 地学基礎演習
教 科： 理科 科 目： 地学基礎演習 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 自由選択科目

教科担当者：（ 柴田 ）

使用教科書：（ 高等学校 地学基礎 ： 数研出版 ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎演習	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙や自然現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	宇宙や自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	活動する地球 【知識・技能】 地球の概形やプレートテクトニクスの仕組みを学び、地殻で起こる地学的現象について理解する。 【思考・判断・表現】 地球の大きさの測定や、プレート運動と地震・火山や大地形の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1 地球の形と大きさ 2 地球の構造 3 プレートテクトニクスと地殻変動 4 プレート運動のしかた ・教材 教科書、図表、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・適切に位置情報や機器を利用し、地球の大きさやプレートの移動速度を求められる。 ・3種類のプレート境界と大地形や地震・火山などの地殻変動との関係がわかる。 【思考・判断・表現】 ・地球が球である証拠を理解したり、回転楕円体について考えられる。 ・大地形や地殻変動に分布を見てプレートの運動について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	3
	地震と火山 【知識・技能】 地震や火山が発生するメカニズムについて理解する。 【思考・判断・表現】 3つのプレート境界と地震・火山との関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 5 地震 6 地震の分布 7 地震災害 8 火山活動 9 火山がもたらす恵みと災害 ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・地下構造と関連させて地震・火山が起こるメカニズムがわかる。 ・地震や火山の発生に伴って起こり得る現象や災害について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・地震の伝わり方を的確に理解し、震源決定をすることができる。 ・地震災害や火山災害について理解し、それに対する防災対策について考えられる。 ・火山の形やマグマの性質から噴火様式や火山災害を予測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	移り変わる地球 【知識・技能】 地層や化石のでき方を理解し、地球史の成り立ちを考える。 【思考・判断・表現】 環境と生物との相互関係について理解し、生態系や地球環境の保全について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 10 堆積作用と堆積岩 11 地層の形成 12 化石と地質時代の区分 13 古生物の変遷 ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・河川的作用等によって形成される地形や、堆積岩の形成過程がわかる。 ・地層や化石の形成過程を理解し、そこから推測される地球史がわかる。 ・古生物と地球環境との関わりがわかる。 【思考・判断・表現】 ・地質構造や含まれる化石から堆積した時代や環境を推測できる。 ・地表の変化のメカニズムについて理解し、起こり得る災害を予測することができる。 ・生物の変遷と地球環境との関係を理解し、地球環境の保全について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	3
	大気と海洋、地球の環境 【知識・技能】 地球全体のエネルギー収支について理解し、気象現象の発生のメカニズムを考え、地球の自然環境について理解する。 【思考・判断・表現】 天気図や衛星画像などをもとに、大気の動きや天気の変化を考え、今後の地球環境について予測する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 14 大気の構造 15 地球全体の熱収支 16 大気の大循環 17 海水の運動 18 日本の天気と気象災害 19 気候の自然変動 20 人間活動による環境変化 21 日本の自然環境 ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・大気や海洋の層構造について、それぞれの特徴と関連づけて理解できる。 ・地球のエネルギー収支と、大気・海洋の運動と関連づけて理解できる。 ・自然現象の季節変化や長期的変動をもとに、地球の自然環境について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・天気図や資料、データをもとに考え、天気や起こり得る現象について考えられる。 ・気象・海洋現象のメカニズムについて理解し、起こり得る災害について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	太陽系と宇宙 【知識・技能】 太陽系や宇宙の階層構造について理解し、時間的・空間的な広がりを認識する。 【思考・判断・表現】 さまざまな天体の特徴を理解し、それらの形成過程や未来の姿を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 22 太陽系の天体 23 太陽 24 太陽系の誕生と現在の地球 25 宇宙の誕生 ・教材 教科書、図表、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・太陽系の天体の特徴と形成過程がわかる。 ・太陽の特徴と、地球への影響がわかる。 ・宇宙の階層構造を理解し、ビッグバンから始まった宇宙の歴史がわかる。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな天体の特徴から、それらの形成過程や未来の姿について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	7
	共通テスト演習問題 【知識・技能】 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 演習問題を通して、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返り	・教材 教科書、資料集、問題集、	【知識・技能】 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 科学的に探究する力をつけている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させている。	○	○	○	8
3 学 期	共通テスト演習問題 【知識・技能】 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 演習問題を通して、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返り	・教材 教科書、資料集、問題集、	【知識・技能】 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 科学的に探究する力をつけている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させている。	○	○	○	10
							39

高等学校 令和 8 年度（3 学年用） 教科 外国語 科目 英語演習

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (SKYWARD COSMOS Course 2nd Edition)

【知識及び技能】大学入試に必要な語彙・文法構文・長文の論理展開などの知識を身につける

【思考力、判断力、表現力等】論理展開、的確な説明などの表現力を身につけ、偏りのない判断をする練習をする

【学びに向かう力、人間性等】 異なる文化・社会構造の地域や人々の考え方や生活様式・個人の意見を理解し、多様な思考ができる

科目 英語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

[illegible]

